



サステイナブルなひと、

生活クラブ

# 10のThink & Act

- 01:食の安全にこだわります。** \_\_\_\_\_ 1  
● 食品添加物 ● 農薬の削減 ● 放射能対策
- 02:健康な食べ方を大切にします。** \_\_\_\_\_ 2  
● ビオサポ ● SNS
- 03:国内自給力アップをめざします。** \_\_\_\_\_ 3  
● 国産比率 ● 飼料用米
- 04:遺伝子組み換え作物を認めません。** \_\_\_\_\_ 4  
● GM対策
- 05:有害物質ゼロをめざします。** \_\_\_\_\_ 5  
● 無添加包材 ● せっけん
- 06:自然資源を大切に使います。** \_\_\_\_\_ 6  
● CO<sub>2</sub>削減 ● 節電
- 07:ごみの削減に取り組みます。** \_\_\_\_\_ 7  
● ごみ削減
- 08:原発のない社会をめざします。** \_\_\_\_\_ 8  
● 創エネ
- 09:おたがいにたすけあう社会をめざします。** \_\_\_\_\_ 9-10  
09-1: ● エッコロ制度 ● 共済制度 ● 共済事業 09-2: ● 福祉事業 ● 復興支援
- 10:自分たちで決めて、自分たちで行動します。** \_\_\_\_\_ 11  
● 自主監査 ● 生産者交流会

## データページ 数字で見る動向と推移 \_\_\_\_\_ 12-13

- DATA1 数字で見る共同購入事業の動向と推移  
○ 組合員数の推移 ○ 業態別組合員数の推移 ○ 供給高・供給実績 ○ 業態別供給高・供給実績 ○ 出資金推移
- DATA2 2016年度生活クラブグループの福祉事業の規模とひろがり  
○ 事業所数 ○ 利用登録者 ○ 働くメンバー ○ 事業高

# 食の安全にこだわります。

## 01

生産から廃棄まですべての過程において、添加物や残留農薬をできる限り減らすなど、安全性にこだわります。また、徹底した放射能検査を実施します。健康や環境に与える影響についての情報を積極的に公開します。

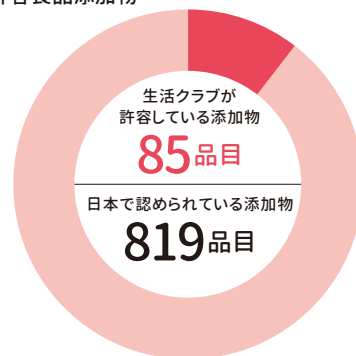
### 食品添加物

## 許容している食品添加物は85品目

生活クラブでは、「疑わしいものは使用しない」「不要なものは使用しない」「使用したものはすべて公開する」を原則に、食品添加物を減らしてきました。国が使用を認めた食品添加物819品目のうち、生活クラブはわずか85品目にまで削減しています。

※日本で使用が認められている食品添加物は製造、輸入、使用、販売等の規制対象(指定対象)となる「指定添加物」「既存添加物」と、指定対象外の「天然香料」「一般飲食物添加物」に分類されています。

・許容食品添加物



2017年7月1日現在

### 農薬の削減

## 毎年すすむ農薬の削減

生活クラブでは、残留農薬は国の基準の1/10未満を目標とするなど独自の厳しい農業基準を設けています。残留農薬検査を定期的に行い、毒性の強い農薬を「削減指定農薬」と位置づけて削減をすすめています。また、産地ごとの農薬削減の進捗状況を組合員と共有しています。これらの情報はすべて公開しています。

・残留農薬の基準目標



#### 削減指定農薬

生産者と生活クラブが優先的に削減しようとしている農薬のことで、以下の性質があるものです。

- 国が毒物に指定した農薬
- 国が水質汚濁性農薬と指定した農薬
- 発がん性、および発がん性の疑いがある農薬
- ダイオキシン含有の報告がある農薬
- 環境ホルモン\*の疑いがある農薬

※環境ホルモン:環境中に放出された化学物質で、体内に入ってホルモン系の内分泌をかく乱する物質。ごく微量でも影響を及ぼす恐れがあり、「外因性内分泌かく乱物質」とも言われます。

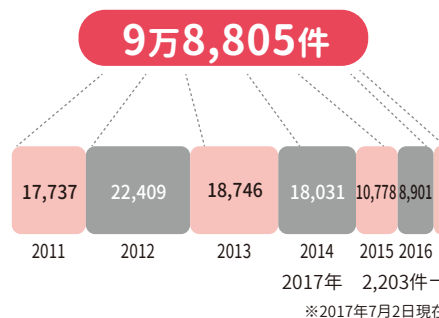
### 放射能対策

## 3.11原発事故以来つづけてきた放射能検査は9万8,805件

生活クラブでは2011年3月11日の東京電力福島第一原発事故直後から徹底した食品の放射能残留検査を積み重ね、その実績をもとに独自の厳しい自主基準を設定しました。そして、検査実績を積み上げるとともに、検査環境の整備や検査スキルの向上など、毎年対策を進化させてきました。

※放射能の累積検査数は、2017年8月に10万件を突破しました。

・放射能残留検査数



・放射能基準値

(単位:ベクレル/kg)

生活クラブの自主基準(2016年4月~)		
区分	検出下限目標値(4)	基準値
「すくすくカタログ」掲載食品(乳児用食品含)※2016年6月供給から	1	不検出
飲料水(1)・牛乳(原乳)・米	1	5
鶏卵・鶏肉・豚肉・牛肉・乳製品(2)	2.5	10
青果物(3)・魚介類・加工食品	6	25
生椎茸	10	50

- (1) 飲料水には、国の基準と同じ「緑茶」だけでなく、「紅茶」や「山草茶」などの茶類を含みます。
- (2) 旧基準の「乳製品②」を「乳製品①」に結合し、新基準の「乳製品」とします。
- (3) 新基準の「青果物」には、「生椎茸」を除く「きのこ類」を含みます。
- (4) 検出下限値を目標としている理由は、測定する消費材の比重などにより、検査結果にバラつきが生じるためです。

## 生活クラブの放射能対策は基準値を半分以下に引き下げ

子育て世代が抱えている放射能汚染に対する不安にきちんと向き合い、高感度の放射能検査に対応するため、2016年度から基準値を引き下げるとともにゲルマニウム(Ge)半導体検出器を導入し、検査体制を拡充しました。

感謝とともに自然のいのちをきちんといただき、明日への元気につなげるために、食材の栄養や調理、食べ方についての知識や技術をみんなで共有し、食のアイデアを出しあいます。

バイオサポ

## 生活クラブの健康な食デザイン「バイオサポ」を提案

健康でいきいきとした暮らしのために、安全性に配慮した食品を使い、栄養バランスのとれた食べ方を提案する生活クラブの健康な食デザイン「バイオサポ」という活動が、2014年1月からスタートしました。「生活クラブ食べるカタログ」やWEBサイトで、栄養バランスを考えた季節のレシピや食べ方、基礎的な調理技術のコツを掲載しています。

・レシピ提案の数



2016年度 年間で143レシピを紹介

### バイオサポとは

生命を意味する「BIO」と「美を」をかけ、生命力にあふれた健康な食生活をサポートしていくという意味の生活クラブの造語です。



## 全国の生活クラブでバイオサポ学習会を55回開催

健康な食デザインを組合員が理解し日々の活動に役立てるために、生活クラブの職員が講師となり各地域で学習会を開催しています。2016年度は合計55回開催。のべ1,486人の参加がありました。

※バイオサポ学習会には基礎講座とバイオサポーター養成講座の2種類があります。バイオサポ企画の開催やレシピ開発など、その後参加者のみなさんは、各地の生活クラブでさまざまな活動しています。



生活クラブ長野「バイオサポーター」が味噌レシピを開発

SNS

## 「これいい♪クラブ」でくらしの知恵を共有

生活クラブのコミュニティサイト「これいい♪クラブ」は、料理のレシピや献立、省エネや子育てなどの生活のレシピを交換、交流するWEBサイトです。普段の食卓に登場する料理レシピや献立、少しの工夫で毎日をもっと楽しくするレシピがたくさんあります。



# 国内自給力アップをめざします。

## 03

原料や飼料の国産割合を高めることにより“生命の産業”である「農業」「漁業」「畜産」を振興します。消費者と生産者が一体となって、国内自給力の向上を図り、食の自立・健康増進・地域環境の保全に取り組みます。

### 国産比率

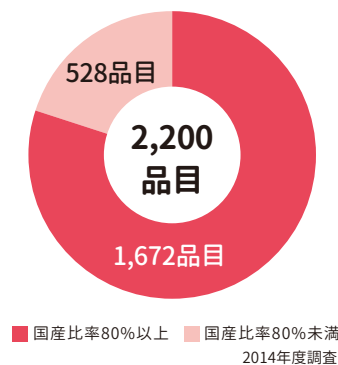
## 1,672の加工食品が国産原材料比率80%!

2014年度の調査により、加工食品2,200品目のうち、1,672品目が国産原材料を8割以上使用していることがわかっています。

#### 消費材とは

生活クラブでは、取り扱う食品や生活用品を、利益を得ることが目的の「商品」ではないという意味を込めて「消費材」と呼んでいます。

・加工食品の国産原材料の使用割合

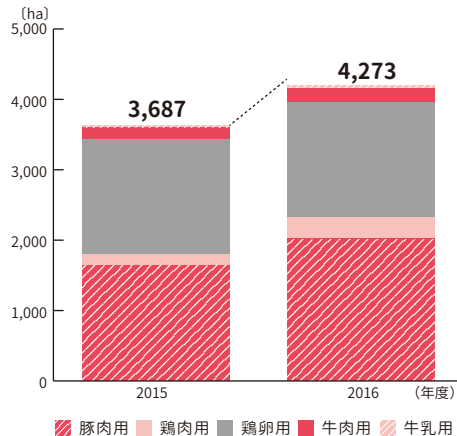


### 飼料用米

## 飼料用米の作付面積は16%増

国内で飼育されている豚や鶏などの飼料の9割以上は、輸入に頼っているのが現状です。生活クラブでは1997年、飼料でも自給力の向上をめざして、豚に与える飼料用の米や稲の生産を提携生産者とともにすすめ、2004年本格的に「飼料用米プロジェクト」がスタート。この先進的な取り組みは、新聞やテレビのマスコミにも取り上げられました。生産地域での横断的な協議の場を活用し、水田を中心とした耕畜連携を推進しています。2016年度の作付面積は前年比116%、特に豚肉で大きく伸長しました。

・飼料用米の作付面積



### 自給力の向上をめざし、TPPに反対しています

TPPをはじめ、極端な貿易自由化をめざす経済連携協定 (FTA, EPA) の交渉がすすめられています。日本の食と暮らしと命を守るために、生活クラブは一貫してTPPに反対の立場を表明してきました。

※TPP=Trans-Pacific Partnership Agreement  
環太平洋連携協定

生活クラブ連合会は、「TPP交渉差し・憲法訴訟の会」による集団訴訟を応援しています。



# 遺伝子組み換え作物を認めません。

## 04

多国籍企業による種子の独占を招き、また生物の多様性を破壊する遺伝子組み換え作物を認めません。食料、飼料、添加物においても取り扱いしません。やむを得ず使用する場合は情報を公開します。

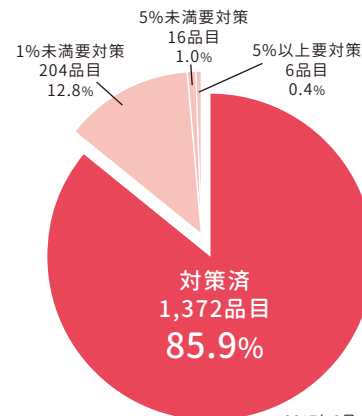
### GM 対策

## 対象品目の85.9%、1,372品目の対策を終了

国が定めた表示制度ではGM(遺伝子組み換え)由来原料のごく一部しか表示の対象になりませんが、生活クラブでは、微量GM原材料(仕込み重量割合で5%未満)にいたるまで、生産者の協力を得ながら一つひとつ非GM原料に替える対策を実施してきました。加工度の高い惣菜や菓子類などのジャンルを中心に対策をすすめ、GM原材料が使われる可能性のある品目1,598品目のうち、1,372品目の対策を終えました。

※5%以上の原料対策となっている6品目はすべて粉ミルクです。粉ミルクの独自品の開発は困難なので、主原料の原産国名やGM区分に関して情報開示をしているメーカーの製品を取り扱っています。

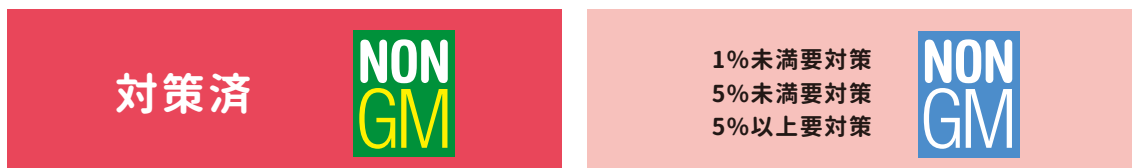
・GM対策状況



2017年3月末現在

### カタログではマークで対策状況を開示

GM対策の状況は、対策済と要対策の2種類のマークを「食べるカタログ」やWEB注文システムで開示しています。



## 要対策品のほとんどは「1%未満要対策原材料」

2017年3月末現在、226品目が要対策になっていますが、このうち204品目は「1%未満要対策」です。たとえば酸化防止剤のビタミンEやビタミンC、香料の抽出に使われるアルコールなど特定の微量原料に限定しています。

・微量GM原材料の表示例：  
カレールウ 甘口



※右記の表示例では、原材料名などの表示枠の直下に「仕込み重量割合で1%未満の酸化防止剤のビタミンEの原材料が課題」と明記しています。

原材料		
ショートニング(牛肉を含む)	フルーツチャツネ	デキストリン
小麦粉	ウスターソース(りんごを含む)	植物油脂
カレー粉	はちみつ	カラメル色素
食塩	ビーフエキス	乳化剤(レシチン)(大豆を含む)
砂糖	バナナペースト	香料抽出物
野菜粉末(たまねぎ、トマト)	チキンエキス	酸化防止剤(トコリエノール、VE)

### 2016年度もGMなたね自生調査を行ないました。

生活クラブでは2005年から毎年、GMなたねの自生調査や、製油所や地元の自治体への申し入れなど、自生の広がりを防ぐための活動を行なっています。2016年春には、19都道府県で470検体検査し、40検体がGMなたねであることが分かりました。



# 有害物質ゼロをめざします。

05

健康や環境をおびやかす有害物質の使用・放出を減らします。  
有害物質ゼロへ向けて、継続的に活動していきます。

無添加  
包材

## 食品の包材も化学物質の無添加を追求

・添加物を可能な限り排除した  
プラスチック・フィルムの使用量

生活クラブでは添加物を可能な限り排除した食品包装用の「無添加追求フィルム」を開発し、その使用をすすめてきました。また家庭で使用するラップフィルムも無添加のものを開発・使用し、包装材から食品へ化学物質が移染するのを防いでいます。包装用の無添加追求フィルムの使用量は、2016年度年間で約87トン、家庭用の無添加ポリエチレンラップの利用量は約56トン、合計143トンでした。



2016年度実績

### 無添加追求フィルム

一般的な食品包装用フィルムには、酸化防止剤、滑剤、着色剤、防曇剤など、様々な添加物が使用され、条件によっては食品に移行汚染してしまう危険性があります。しかし具体的にどの添加物が使われているかについては、ほとんど情報開示されていないのが実態です。

そこで生活クラブでは「限りなく無添加を追求した包装用フィルム」を開発し、切り替えをすすめてきました。その開発は、単層フィルムの米袋から始まり、その後、食品が触れるラミネートフィルムの最内層にも使えるようになりました。現在では212品目の包材に使用されています。

2017年3月末現在

せっけん

## 合成界面活性剤の排出を139トン削減

・合成界面活性剤の年間削減量  
(洗濯用と台所用洗剤)

生活クラブでは、合成界面活性剤でつくられる合成洗剤を使用しないでせっけんを使う運動をすすめています。組合員が家庭内で1年間に使ったせっけんの量から推定すると、一般的な合成洗剤を使っていたら排出されていたはずの合成界面活性剤を約139トン削減できたこととなります。

※下記を参照



2016年度実績

### 家庭から排出される有害化学物質の6割以上が合成洗剤の成分!

これは、家庭から排出される有害化学物質の排出推定量を調べた環境省のデータです。それによると、1位がAE、2位は防虫剤成分のジクロロベンゼン、3位がLAS、4位がAESでした。1位、3位、4位、6位はいずれも合成洗剤成分。なんと、家庭から排出される有害化学物質の約60%以上が合成洗剤の成分というのが実態です。

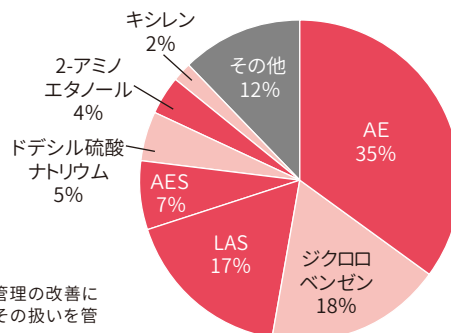
【グラフ内の正式名称】

AE(ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル)  
LAS(直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩)  
AES(ポリ(オキシエチレン)=ドデシルエーテル硫酸エステルナトリウム)

※PRTR法:1999年に公布された「特定化学物質の環境への排出量の把握等および管理の改善に関する法律」。有害で環境を汚染している化学物質462種を第1種指定し、企業にその扱いを管理し、排出した量を毎年届出することを原則義務付けています。

※環境省HP/PRTRインフォメーション広場「平成27年度届出外推計結果」から作成

・家庭から排出されるPRTR法※第1種指定化学物質の割合



全物質合計排出量46,139t 2015年度実績

水・土壌・森林といった再生可能な自然資源を持続的なかたちで使用します。再生できない自然資源については、次世代につなげていけるよう、節減に取り組みます。

### CO<sub>2</sub>削減

## 生活クラブグループで15,802トンのCO<sub>2</sub>を削減

生活クラブグループは2020年度の生協事業におけるCO<sub>2</sub>排出総量を、2007年度を基準として25%削減することをめざしています。2016年度は組合員活動(グリーンシステム)で2,735t、グループ全体の生協事業で3,847tのCO<sub>2</sub>を削減し、創エネルギーで9,220t-CO<sub>2</sub>分の電気を再生可能エネルギーで発電しました。合計1万5,802tのCO<sub>2</sub>の容積は、2007年のCO<sub>2</sub>排出総量の13%にあたり、東京ドームの6.5個分の大きさと同じです。

・生活クラブグループのCO<sub>2</sub>削減量

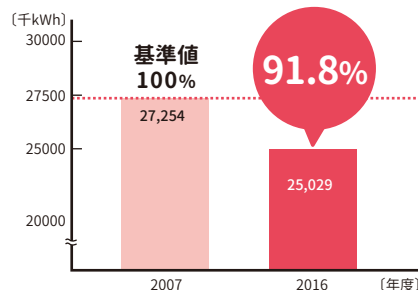


### 節電

## グループ全体での節電で電気使用量基準年度比91.8%を実現

上記のCO<sub>2</sub>削減計画にもとづき、東京電力福島第一原発事故を契機にグループ全体で節電対策を強化しています。2016年度は前年度に比べて100.8%と、ほぼ前年並みでしたが、基準年(2007年度)に比べて91.8%(25,029千kWh)でした。供給高の伸長に伴い、電気の使用量は増加傾向にあります。事業高あたりのCO<sub>2</sub>排出量は14.9t-CO<sub>2</sub>/億円と前年15.3t-CO<sub>2</sub>/億円より効率化がすすんでいます。

・生活クラブグループの電気総使用量の推移



2016年度に生活クラブグループ全体のCO<sub>2</sub>総排出量は、25,710t-CO<sub>2</sub>で、それに要した二次エネルギー\*のコストは、約12.5億円でした。基準年(2007年度)の15.1億円に比べて、2.6億円も節約することができました。

\*二次エネルギーとは一次エネルギー(石油や石炭、天然ガス・原子力・水力など自然から取れたままのエネルギー)を変換・加工した電気・都市ガス・ガソリンなどのことです。

### 省エネ講座

省エネ講座は、省エネ活動をゲームや工作などを通して楽しく学ぶとともに、その背景にある地球温暖化やエネルギーの問題について理解することを目的として開催しています。各地域で18企画が開催され、約400名の組合員が参加しました。



生活クラブ埼玉  
親子工作「ペットボトルでつくるミニ風車」の様子



# ごみの削減に取り組みます。

## 07

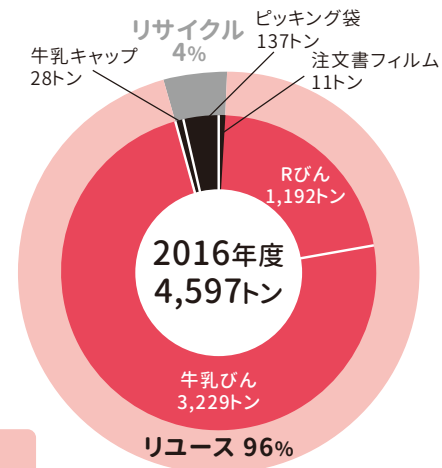
省資源・リユース・リサイクルを通じて、ごみの削減に取り組みます。  
また、廃棄物の処分についても、より安全で信頼できる方法を選びます。

ごみ削減

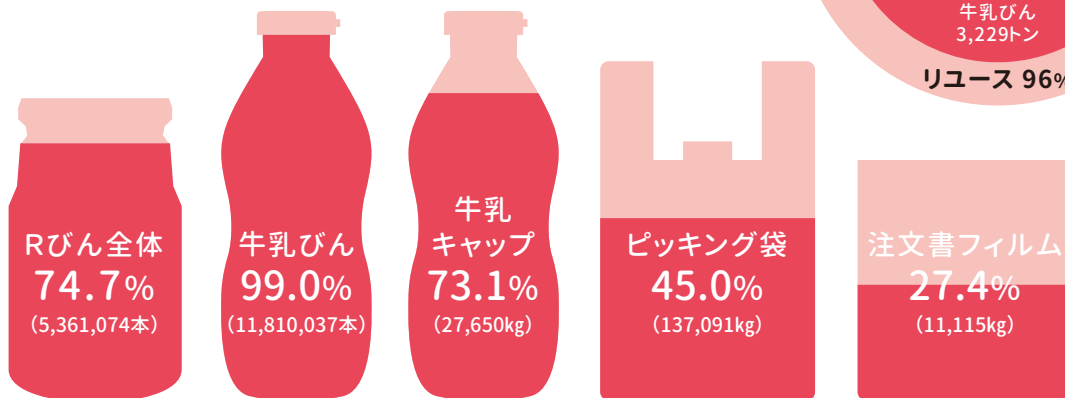
### グリーンシステムで 4,597トンのごみを削減

生活クラブは2016年度にR(リユース)びんや牛乳びんのリユース回収で4,421トン、牛乳キャップやピッキング袋のリサイクル回収で176トンの合計4,597トンのごみを減らしました。2016年度1年間でリユースしたびんの総本数は1,717万1,111本におよびます。

・2016年度ごみ削減量

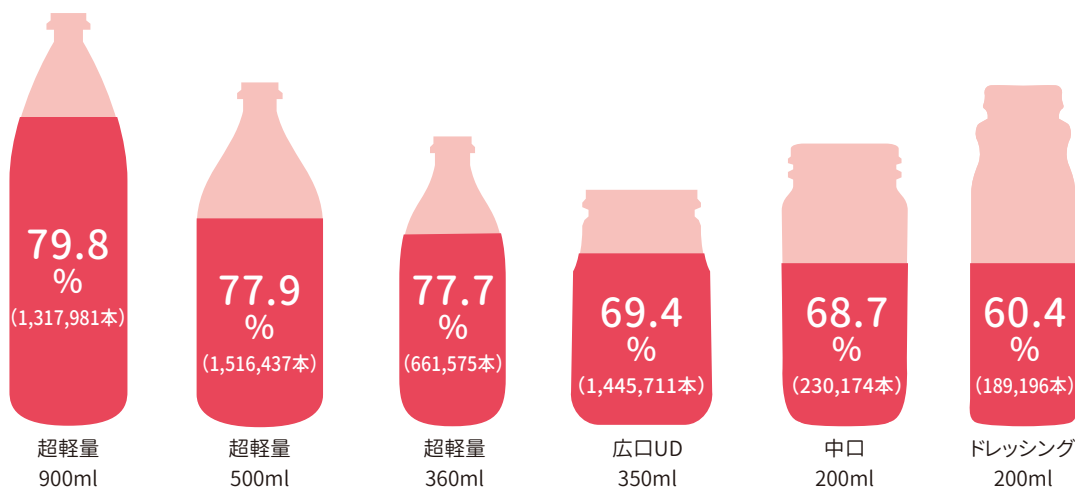


・2016年度 リユース/リサイクル回収率



2016年度実績

・Rびん種類別回収率



2016年度実績

#### グリーンシステムとRびん

GARBAGE REDUCTION FOR ECOLOGY AND EARTH'S NECESSITY の頭文字の略称で、地球生態系のためのごみ減量 (GREEN) システムという意味です。

生活クラブは1994年から容器包装ごみを減らすためにびん容器を数種類のRびんに統一し、回収・再使用を始めました。現在は用途に合わせた6種類のRびんを、65品目の消費材で使用しています(2017年7月現在)。

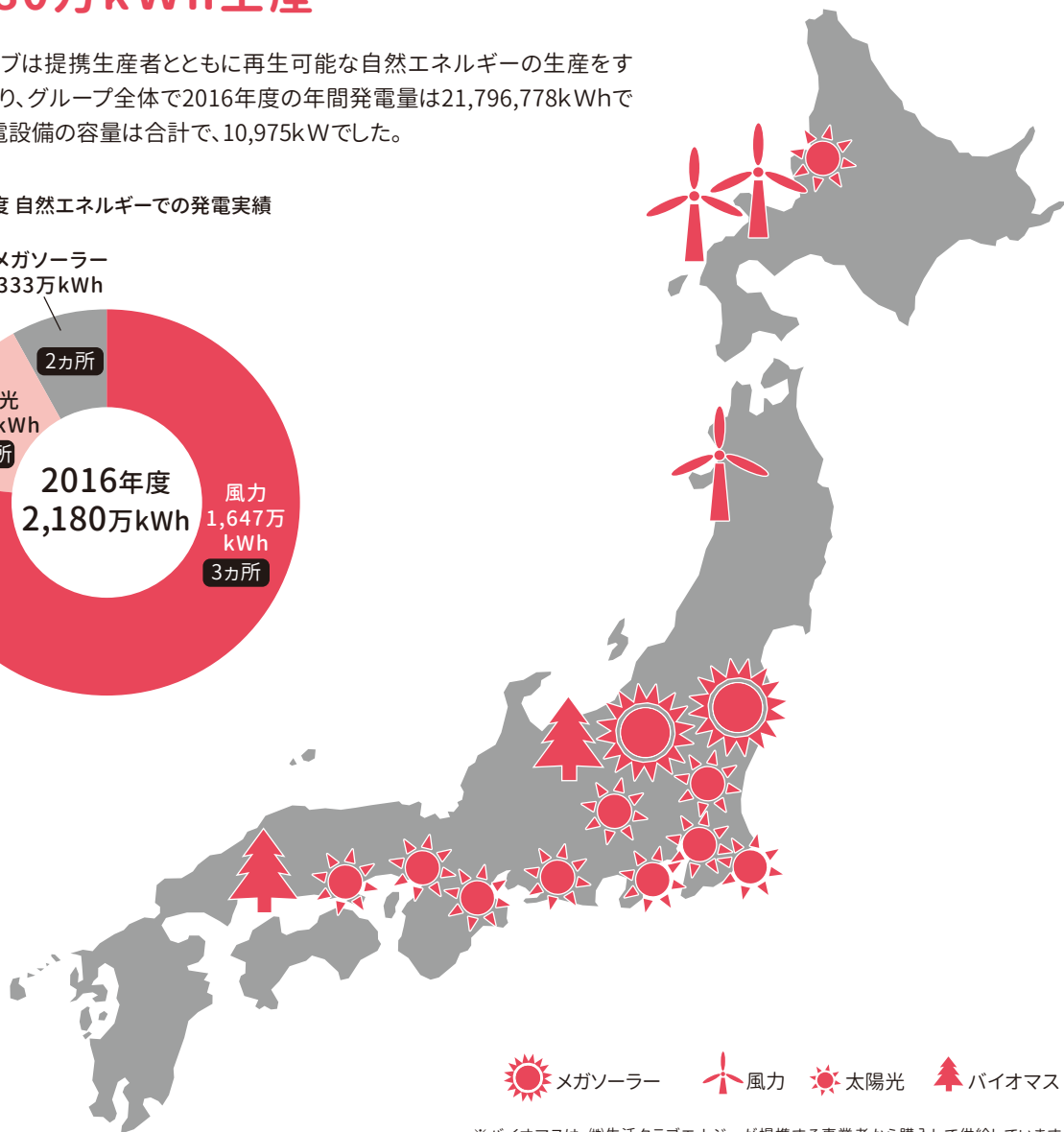
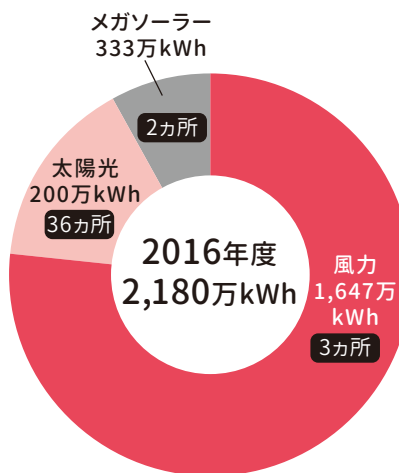
長期的な視点を持ち、エネルギーのムダ使いを積極的に減らします。  
消費者と生産者が力をあわせ、安全で持続可能なエネルギーの生産・流通に取り組みます。

創エネ

## 再生可能な自然エネルギーを 2,180万kWh生産

生活クラブは提携生産者とともに再生可能な自然エネルギーの生産をすすめており、グループ全体で2016年度の年間発電量は21,796,778kWhでした。発電設備の容量は合計で、10,975kWでした。

・2016年度 自然エネルギーでの発電実績



☀️ メガソーラー    🌬️ 風力    ☀️ 太陽光    🌲 バイオマス

※バイオマスは、(株)生活クラブエナジーが提携する事業者から購入して供給しています。

### 自然エネルギーを使う人をひろげています

2016年4月より電力の小売が全面自由化され、電力会社を自由に選べるようになりました。2016年度末の生活クラブでんき\*の契約は、9,473件になりました。

\*生活クラブでんき：生活クラブは(株)生活クラブエナジーを設立し、自然エネルギーを中心に電気を供給しています。

- ① 生活クラブ風車「夢風」
- ② 生活クラブソーラー群馬発電所
- ③ 生活クラブ飯能デリバリーセンター発電所



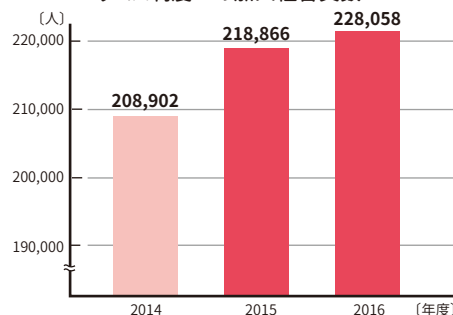
地域の中で安心して子育てや介護ができる仕組みづくりに取り組みます。  
おたがいにたすけあい、学びあい、支えあう活動をひろげます。

エコロ制度

## ひろがる組合員どうしのたすけあい

「エコロ制度」は生活クラブ独自のたすけあいの仕組みです。制度内容は各地の生活クラブによって異なりますが、組合員どうしが「お互いさま」の気持ちでたすけあうという趣旨は共通です。  
2016年度は新たに生活クラブ都市生活(兵庫県)でエコロ制度が始まり、現在15地域の生活クラブで実施されています。

・エコロ制度への加入組合員数



### エコロマーク

エコロのマークには、困った時に手を差しのべてたすけあうという想いが込められています。一見かわいいウサギに見えますが、逆さにしてみると両手が図案化されています。

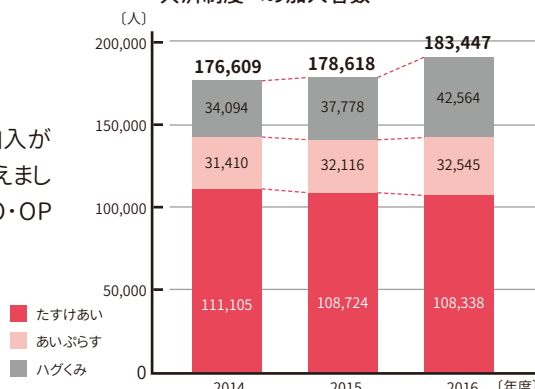


共済制度

## ふえる加入者 生活クラブ共済ハグくみ

「ハグくみ」は生活クラブオリジナルの共済で2013年から各地で加入が始まり、生活クラブ共済ハグくみ2016年度に加入者は4万人を超えました。《たすけあい》と《あいぶらす》は全国の生協組合員でつくるCO・OP共済で、手厚い経済保障が特徴です。

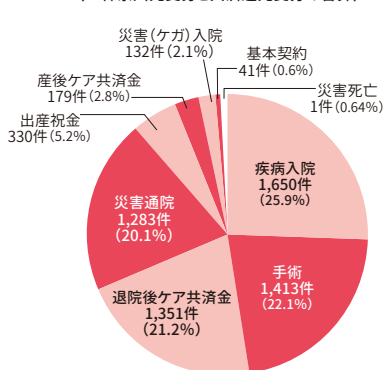
・共済制度への加入者数



共済事業

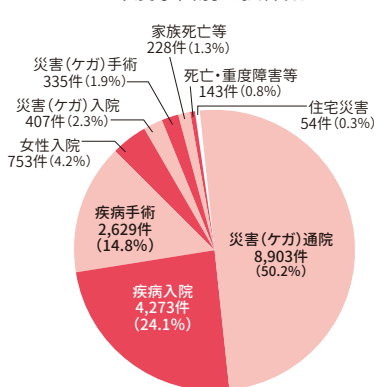
## 2016年度共済事業の概況

・生活クラブ共済ハグくみ  
2016年度事由別支払件数  
(※神奈川元受分と共済連元受分の合算)



支払件数6,380件  
支払共済金額149,331,000円

・CO・OP共済《たすけあい》  
2016年度事由別支払件数



支払件数17,725件  
支払共済金額665,600,000円

・生活クラブ共済連2016年度決算

経常収益(共済掛金、手数料等)A	1,710,573千円
経常費用(支払共済金、人件費、物件費等)B	1,189,480千円
経常剰余金=A-B	521,093千円
当期剰余金	431,456千円
当期未処分剰余金	511,114千円

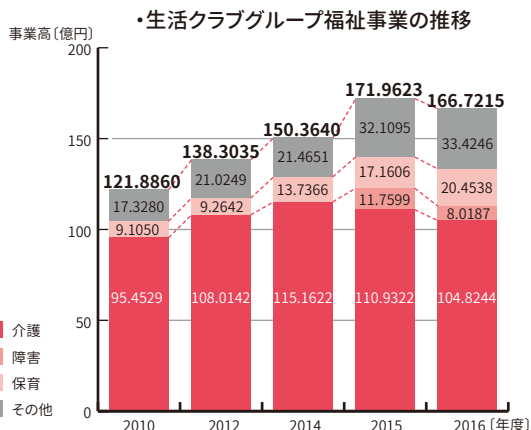
地域の中で安心して子育てや介護ができる仕組みづくりに取り組みます。  
おたがいにたすけあい、学びあい、支えあう活動をひろげます。

福祉事業

## 生活クラブグループの福祉事業の規模は166億円

各地の生活クラブは自ら介護や保育の事業を行ったり、社会福祉法人やNPO法人を設立して地域に根ざした福祉事業を実践しています。生活クラブグループの福祉事業の総事業高は166億円におよび、ひとつの法人グループとしては日本でも屈指の規模となっています。

⇒事業内容ごとの2016年度実績は13ページをご覧ください。



### 生活クラブ共済連は第7回総会で「福祉・たすけあい8原則」を定めました

急速に進む少子高齢化社会、深刻な所得・世代・地域などの格差、私たちを取り巻く環境はますますきびしさを増しています。生活クラブはさまざまな福祉活動を展開し、子どもから高齢者まで誰もがありのままにその人らしく地域で暮らすことができるコミュニティづくりに進め、市民参加の福祉機能を作ってきました。

第7回通常総会では、こうした状況の中、第6次連合事業中期計画にもとづき「たすけあい・共済（保険）・福祉政策」を推進していくために、会員単協・運動グループ・生活クラブ連合会・生活クラブ共済連が力を合わせ、グループ戦略としての福祉の機能づくりをすすめ、内外に広げることを提案しました。

そして、多くの人と人をつながり、ゆたかな人の関係に支えられた「福祉の自給ネットワークづくり」をめざすために、「生活クラブ 福祉・たすけあい8原則」を定めました。

### 生活クラブ 福祉・たすけあい8原則

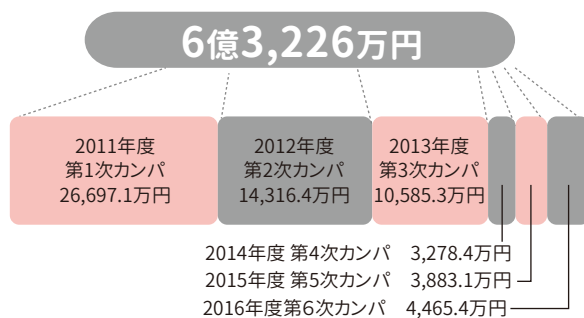
- 1:多様性** 一人ひとりがちがいを認めあいながら、対等につながり、よこびを分かち合える社会をめざします。
- 2:尊厳の尊重** 生まれた時から最期の一日まで、誰もがその人らしく安心して暮らせる地域をつくります。
- 3:参加型社会** 子育て、介護、社会的孤立を地域全体の課題と考え、お互いにたすけあ参加型のしくみをつくります。
- 4:働きがいのある人間らしい仕事** 生活と仕事が調和し、社会をゆたかにする多様な働き方・働く場をつくります。
- 5:居場所づくり・役割づくり** あらゆる人が、心おだやかに楽しく過ごせる居場所づくり・役割づくりをすすめます。
- 6:子育て支援** 子どもが笑顔で暮らせるように、地域全体で、子ども支援・親支援に取り組みます。
- 7:介護支援** 介護する人・受ける人がどちらも、安心して毎日を過ごせるようサポートします。
- 8:社会的孤立への支援** 貧困と孤立を見過ごさず、寄り添い、伴走することで自立を後押しします。

復興支援

## 組合員のカンパ活動で東日本大震災の復興支援

2011年度からの6次にわたるカンパでは、総額6億3,225万8,127円が組合員から寄せられました(2017年3月末現在)。震災が発生してから6年が経過しましたが、支援はまだまだ必要です。今後も活動継続のためカンパの呼びかけを行なっていきます。

・復興支援カンパの実績

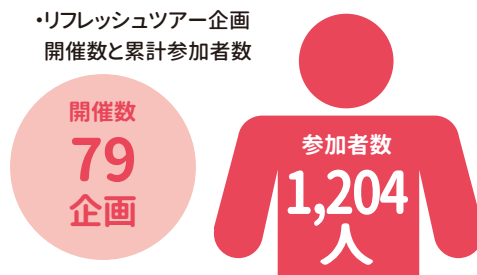


保養活動

### リフレッシュツアーはのべ1,204人が参加

リフレッシュツアーは2016年度までの6年間で、79企画が実施され、のべ385家族、1,204人が参加しました。2015年度からはツアーに招待するエリアを栃木県までひろげて、開催しています。

・リフレッシュツアー企画  
開催数と累計参加者数



# 自分たちで決めて、自分たちで実行します。

10

生活クラブは一人ひとりが主役です。組合員に関わる情報は大きなことから小さなことまですべて公開・共有します。その情報をもとに、自分たち自身で考え、決め、実行します。

自主  
監査

## 生活クラブならではの 「おおぜいの自主監査」を47回開催

生活クラブでは国の基準より厳しい独自基準を生産者と共に創り運営しています。

「おおぜいの自主監査」は、組合員が生産現場を訪問し製造環境や工程を確認して、生活クラブの自主基準への到達点をチェックする活動です。監査結果は各地の生活クラブの機関紙で広報され、連合会のホームページで公開されています。2016年度は47企画が実施され、366人の組合員が参加しました。

2016年度  
おおぜいの自主監査

開催数

47企画

参加組合員

366人

### 利用者の目線で製造現場をチェック

組合員が行なう「おおぜいの自主監査」には、食品添加物や農業の削減、せっけんの使用など、組合員一人ひとりのこだわりの目線が活かされます。また監査によって、消費材がつけられた背景や生産者の努力を知ることができ、組合員が共同購入に参加する意義を再認識する機会にもなっています。

2016年4月に日本果実工業㈱で行われた横浜北生活クラブによるみかんスカッシュの「おおぜいの自主監査」



生産者  
交流会

## さかんな生産者交流会 2016年度は 23万1,853人が参加

組合員が消費材の生産現場を訪問したり、生産者が各地の生活クラブを訪れて組合員と交流する生産者交流会がさかんに行なわれています。組合員にとって生産者から直接情報を得られる、生産者交流会は貴重な機会です。

・2016年度生産者交流会開催実績(のべ数値)

開催数

2,102  
企画

参加生産者

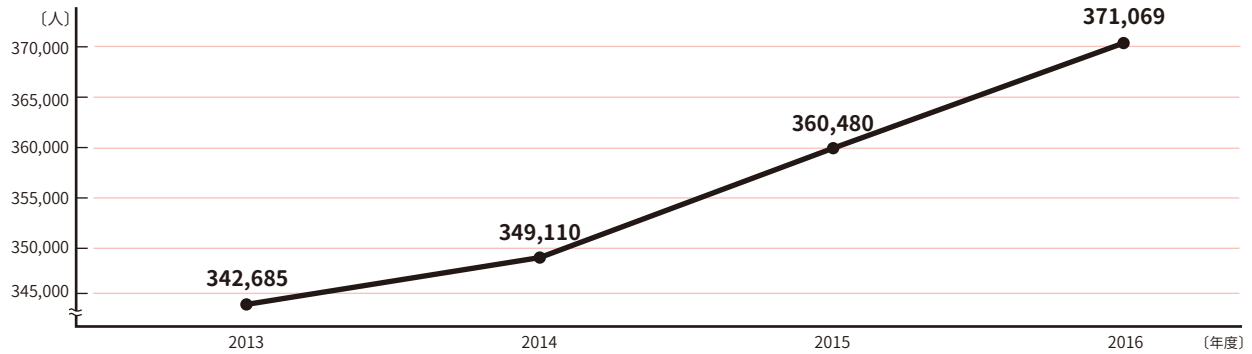
2,404  
団体

参加組合員

23万  
1,853人

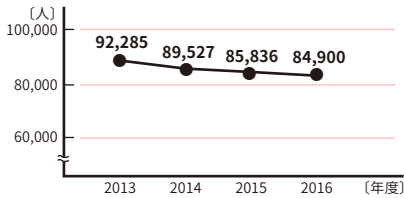
# [ DATA 1 数字で見る共同購入事業の動向と推移 ]

## ● 組合員数の推移 (全業態)

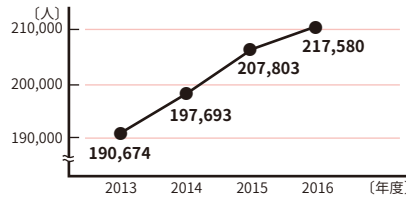


## ● 業態別組合員数の推移

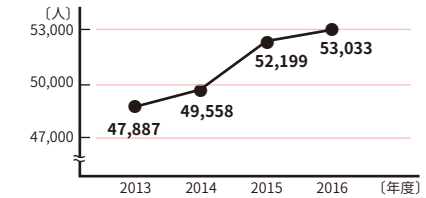
### ● 組合員数の推移 (班)



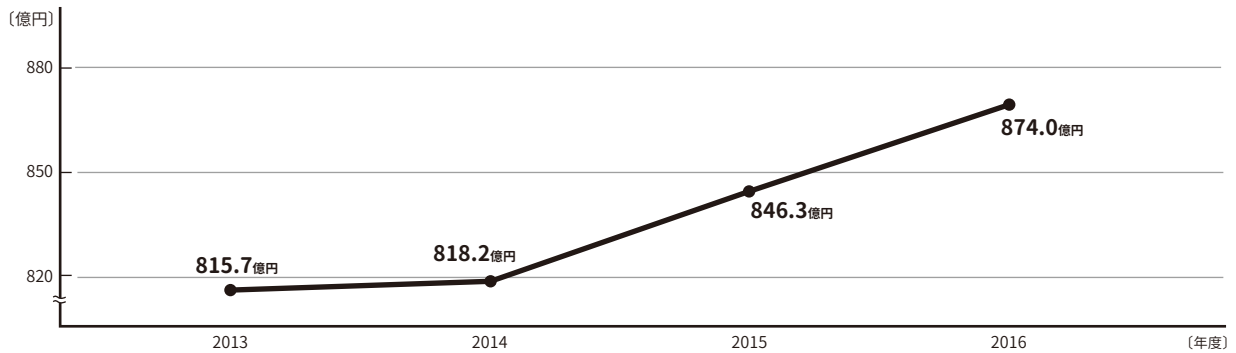
### ● 組合員数の推移 (個別配送)



### ● 組合員数の推移 (デポー)

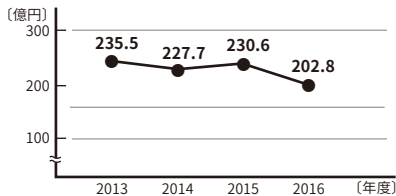


## ● 供給高・供給実績 (全業態)

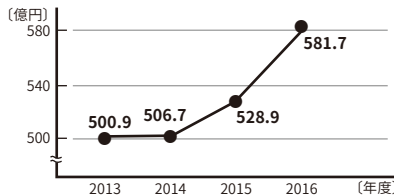


## ● 業態別供給高・供給実績

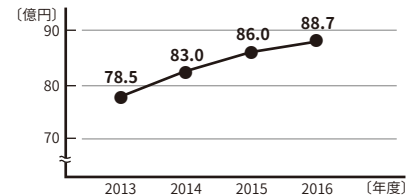
### ● 供給高／供給実績 (班)



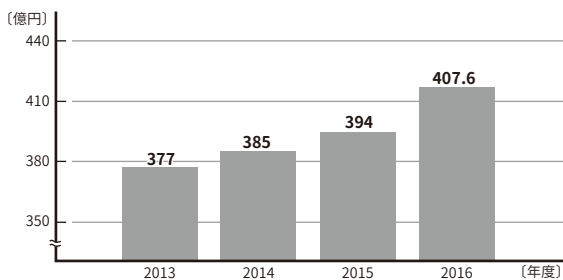
### ● 供給高／供給実績 (個別配送)



### ● 供給高／供給実績 (デポー)



## ● 出資金推移



※業態別組合員人数について

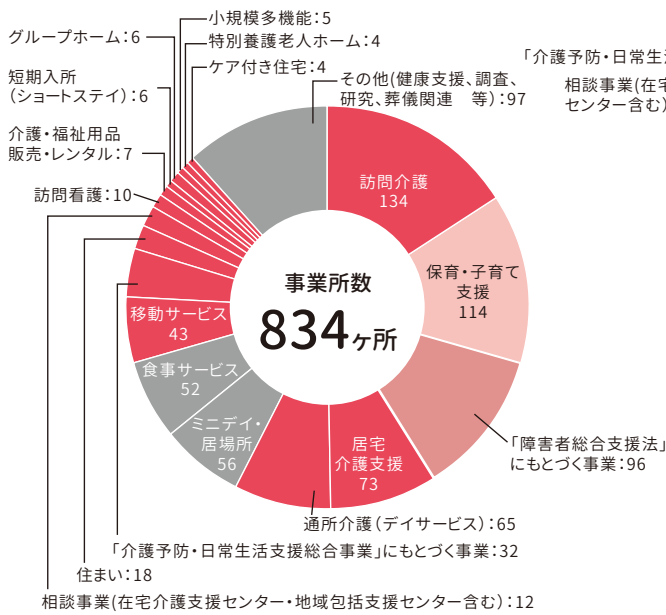
■班：東京4単協、神奈川5単協、埼玉、千葉、長野、北海道、茨城、山梨、岩手、静岡、愛知、栃木、青森、やまがた、群馬、ふくしま、大阪、京都エル・コープ、奈良、滋賀、エスコープ大阪、都市生活。

■個別配送：東京4単協、神奈川5単協、福祉クラブ、埼玉、千葉、長野、北海道、茨城、山梨、愛知、栃木、やまがた、ふくしま、大阪、京都エル・コープ、奈良、滋賀、エスコープ大阪、都市生活。

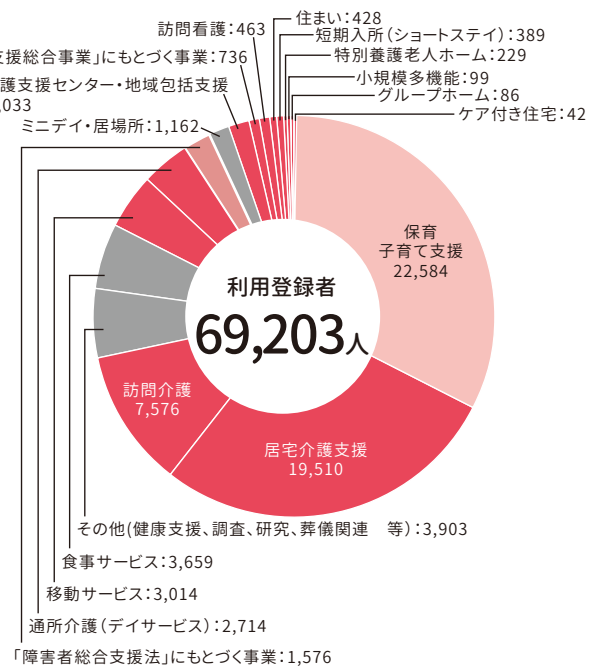
■デポー：東京4単協、神奈川5単協、千葉（大阪・エスコープ大阪のミニ店舗を含む）。

# [ DATA 2 2016年度生活クラブグループの福祉事業の規模とひろがり ]

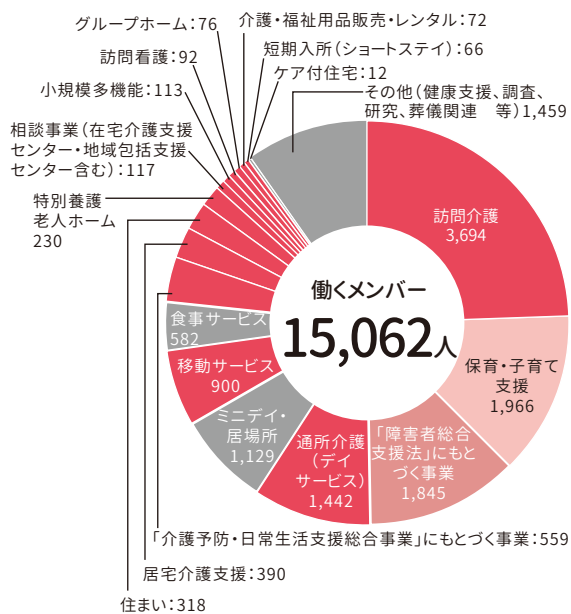
## ● 事業所数



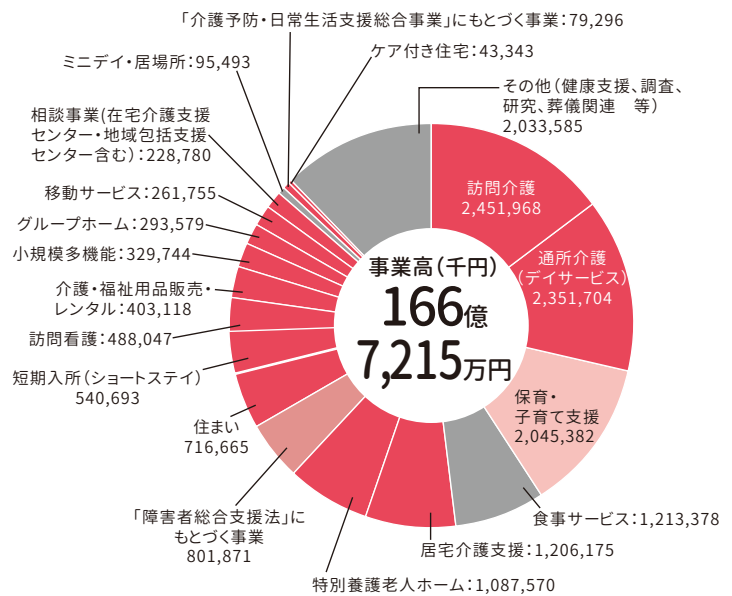
## ● 利用登録者



## ● 働くメンバー



## ● 事業高



■ 介護 ■ 障害 ■ 保育 ■ その他

